



文化発表会、合唱コンクールを終えて

文化発表会の展示部門として、10月15日（火）から23日（水）午前中までの間、本校の多目的ホールをはじめ、校内で美術部や国語科・美術科の作品、すみれ学級の作品、各学年や個人の作品の展示発表などが行われました。そして23日には、合唱コンクールをプラム・カルコア太宰府で行いました。

本年度の文化発表会のスローガンは「輝跡（きせき）」、このスローガンには「これまでの自分たちの軌跡を信じて、ひとりひとりが輝く行事を作りたい、そしてその輝く姿をこれからの代にも繋げていきたい」という思いが込められていました。その思いを美術部が受け止め、素晴らしく、輝く絵幕に仕上げてくれました。午前だけの開催ではありましたが、どの学級もどの学年も、生徒達は素敵な歌声を響かせてくれました。また、23日のステージでは「コーラス花」さんによる合唱披露もしていただきました。ありがとうございました。学年だよりや学級だよりで、その成果を伝えられることと思います。文化的行事を経験することで、子どもたちの人生が豊かになると信じています。保護者アンケートの中から、感想を2つ紹介させていただきます。



ステージに飾られた美術部による絵幕

- 習字から職業体験の発表まで、とても見応えのある展示でした。普段見ることの出来ない子どもたちの製作をまとめて見ることが出来て嬉しさと感動が止まりませんでした。
- 子ども達の澄んだ声に癒されました。思春期真っ只中で、家では反抗していたりと子ども達なりのいろいろな感情がある中、クラスのみんなで今日の発表まで、なんとか仕上げて来たのかなと思うと、みんな頑張ったねと褒めてあげたいです。先生方もご指導ありがとうございました。

「ふるさと・夢プロジェクト」多賀城市への訪問及び本校での交流会

宮城県の多賀城市と太宰府市は、友好都市関係にあります。「多賀城」と「大宰府」は奈良の平城宮跡と並んで「日本三大史跡」と言われ、ともに約1300年前の古代の遺跡です。太宰府市では「ふるさと・夢プロジェクト」事業として、市内の4中学校からそれぞれ2名ずつを「ふるさと大使」に任命し、多賀城市と交流をしています。本年度、本校からは第38期生徒会役員の東原さんと石川さんが、「ふるさと大使」として10月9日から11日まで多賀城市へ派遣されました。実は、私も本校の生徒会担当と共に、引率をさせていただきました。



復元されたばかりの多賀城南門

大使のミッションは、太宰府市との共通点やつながりを「学習」し、多賀城市の中学生と「交流」し、学んだことや気づいたことを「発信」することです。それぞれの中学校ではその報告会が実施され、本校では12月23日に体育館で行う予定です。

また、「賀（よろこび）多き」を願って724年に創建された「多賀城」、今年がちょうど1300年目です。10月25日には、多賀城市の4中学校から8名を太宰府東中学校にお招きしました。交流として、3年生の授業「コンパスを使って、市章を書こう」「宝満山のヒキガエルはなぜ山頂へ向かうのか考えよう」「太宰府市の現状と課題から住みやすい街について考えよう」を一緒に受けてもらい、考えを交流することができました。体育館では、多賀城市の中学生による多賀城市の紹介があり、「多賀城音頭」を楽しく踊り、大いに盛り上がりしました。最後は、全学年でお見送りをすることができました。これらは、「ふるさと太宰府」について考える、いい機会になったと思っています。



「また太宰府に来んしゃい♪」